

# 環境経営レポート

 株式会社 共栄建設工業

## 2022 年度

(対象期間 2022 年9月1日～ 2023 年8月31日)



2022年完成県立日高高等学校講義棟建築その他工事

発行日： 2024年7月28日

## 目 次

項 目	ページ
あいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	12
緊急事態対応訓練	12
代表者による全体の評価と見直し・指示	12

現在の大量生産・大量消費・大量廃棄の社会経済システムは、私たち人類に便利で快適な暮らしを提供しましたが一方で、自然環境に多大な負荷を与えたために、バランスが崩れ、このままでは人類の生存そのものが脅かされる可能性さえ出てきています。温室効果ガス排出量を大幅に削減する「低炭素社会」資源の消費や廃棄物を削減し再使用し再資源化する3Rを通じた資源循環による「循環型社会」自然の恵みの享受を継承する「自然共生社会」の3つを統合した持続可能な社会の構築のために取り組みたいとおもいます。

株式会社共栄建設工業  
代表取締役 沼田 茂

# 環境経営方針

株式会社共栄建設工業は、共存共栄の精神でお客様との信頼を大切にし、喜んでいただける、本業である土木・建築の設計施工を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

## 環境保全への行動指針

- 1．環境関連法規制を遵守します。
- 2．二酸化炭素排出量の削減に努力します。
- 3．廃棄物の削減に努めます。
- 4．水使用量の削減に努めます。
- 5．環境に配慮した事業への取組みを推進します。
- 6．地域ボランティアに積極的に参加します。
- 7．環境経営システムの継続的改善に努めます。
- 8．環境経営方針は全従業員に周知する。

重要事項は、1～4項に示す

制定日：2013年9月1日

改訂日：2019年9月旧

代表取締役 沼田 茂

## 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名  
株式会社 共栄建設工業  
代表取締役 沼田 茂

- (2) 所在地  
本社 兵庫県豊岡市日高町国分寺25 4  
大作業場 兵庫県豊岡市日高町山本10 5 1  
四十侍作業所 兵庫県豊岡市日高町国分寺四十樽77-1  
261作業所 兵庫県豊岡市日高町国分寺26 1

- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 取締役 総務部長 吉野 徳也 TEL : 0796-42-3131  
担当者 取締役 沼田 弘美 TEL : //

- (4) 事業内容  
建築工事、土木工事、とび・土工工事、管工事  
舗装工事、塗装工事、解体工事

- (5) 事業の規模  
売上高 1,046 百万円 (2022年2月1日～2023年1月31日)

	本社	大作業場	四十侍作業所	261作業所	合計
従業員 名	18 名	0 名	0 名	0 名	18
延べ床面積 m <sup>2</sup>	495.9 m <sup>2</sup>	104.76 m <sup>2</sup>	542.61 m <sup>2</sup>	400 m <sup>2</sup>	1543.27

- (6) 事業年度 2 月 1 日 ～ 1 月 31 日 (EA21運用期間9月～8月)

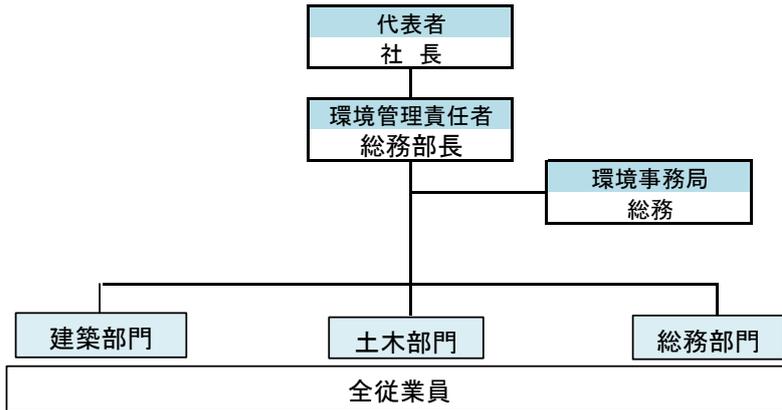
- (7) 太陽光発電 規模 中ノ郷(1期)48.4kWh 中ノ郷(2期)39.9kWh 石井49.2kWh  
年間売電量 52,335kWh 45,231kWh 56,643kWh  
合計 154,209kWh

## □認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 : 株式会社 共栄建設工業  
対象事業所 : 本社  
大作業場  
四十侍作業所  
261作業所  
対象外 : なし  
活動 : 建築工事、土木工事、とび・土工工事、管工事  
舗装工事、塗装工事、解体工事

# 環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2024年7月28日



役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境目標・環境活動計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>環境活動レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者 (総務部長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境目標・環境活動計画書を確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境活動レポートの確認</li> </ul>
環境事務局 (総務)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>環境目標、環境活動計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## 主な環境負荷の実績

項目	単位	2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	94,355	90,768	84,267
Scope1 (化石燃料)	kg-CO2	-	81,689	77,114
Scope2 (電力)	kg-CO2	-	6,849	7,153
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	t	0.350	0.369	0.332
産業廃棄物排出量	t	698	3,724	833
水使用量	m <sup>3</sup>	266	144	117
※電力の二酸化炭素排出係数 (調整後)		0.344	0.318	0.318
※負荷の実績は工事現場を含む		関西電力	関西電力	関西電力
※化学物質の使用はありません。				

kg-CO2/kWh

## 環境経営目標及びその実績

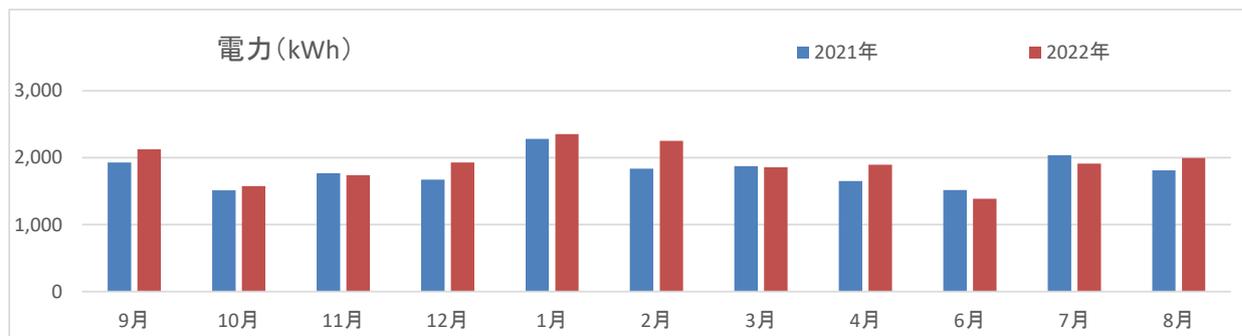
項目	年度	2022年度			評価	2023年度	2024年度
		2021年度 (基準値)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kWh	21,538	21,107	22,493	×	20,892	20,676
	基準年度比	2021年度	98%	104%		97%	96%
	kg-CO2	6,849	6,712	7,153	×		
売上高原単位	kWh/千円	0.207	0.203	0.215	×	0.201	0.198
売上高原単位	kg-CO2/千円	0.066	0.064	0.068		0.064	0.063
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	81,691	80,057	77,114	○	79,240	78,423
	基準年度比	2021年度	98%	94%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	103,229	101,164	84,267	○	79,240	78,423
一般廃棄物の削減	kg	335	325	330	×	325	322
	基準年度比	2021年度	97%	99%		97%	96%
混合廃棄物の削減	kg	148,901	145,923	40,820	○	142,945	142,945
			10%	98%	27%	96%	96%
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	144	143	117	○	141	140
	基準年度比	2021年度	99%	81%		98%	97%
エコ商品の提案件数	行動目標(次項による)						

# 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標: ○達成 ×未達成

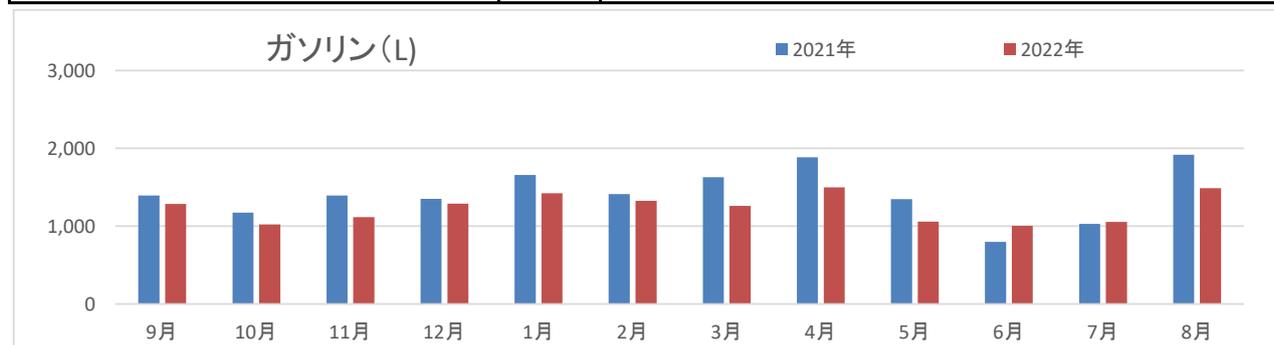
活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
<b>電力による二酸化炭素削減</b>	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	年間を通じて業務量の増加により未達成となりました。また、売上高原単位では、kWh、kg-CO2共に僅かに未達成でしたが、次年度以降、原単位評価も評価指標に取り入れる様になります。
原単位目標	×	
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	×	
・不要照明の消灯	△	
・働き方見直しによる残業時間の短縮	○	
・作業・業務の見直しによる効率化	△	

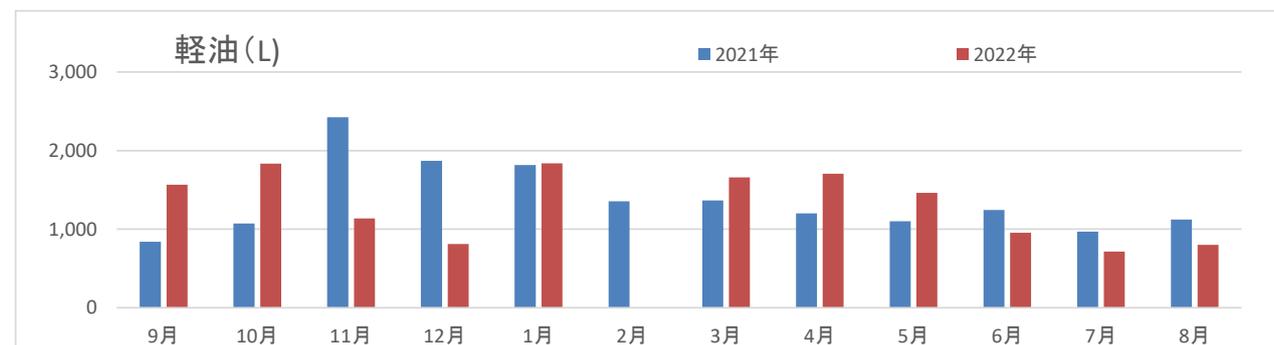


	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2021年	1,928	1,515	1,771	1,674	2,283	1,836	1,874	1,654	1,637	1,516	2,039	1,811
2022年	2,125	1,575	1,742	1,929	2,355	2,251	1,856	1,894	1,466	1,388	1,914	1,998

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
<b>自動車燃料による二酸化炭素削減</b>	達成状況	結果として、大幅に目標達成となった。次年度も、引き続き、売上高原単位を含めて目標達成を図る。
数値目標	○	
・エコドライブの徹底	○	
・効率的なルートで移動	△	

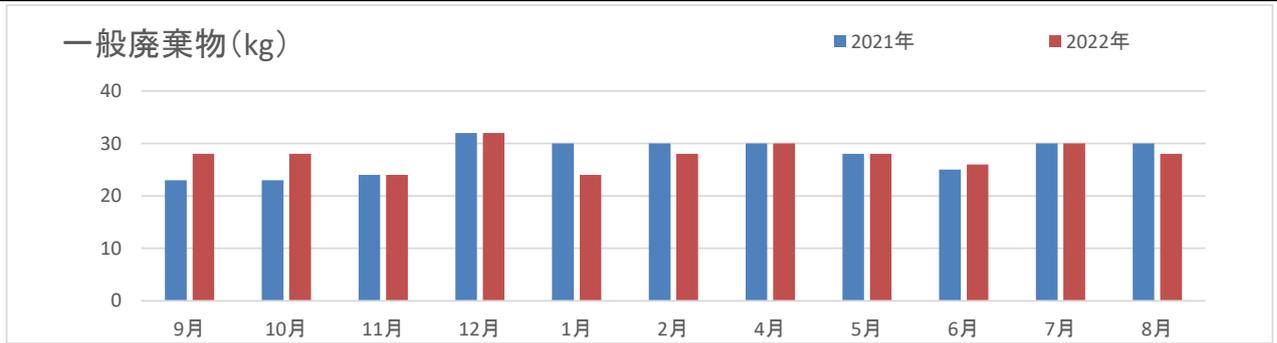


	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2021年	1,394	1,174	1,394	1,349	1,658	1,412	1,631	1,885	1,347	800	1,031	1,918
2022年	1,287	1,023	1,116	1,291	1,423	1,327	1,261	1,498	1,060	1,003	1,055	1,490



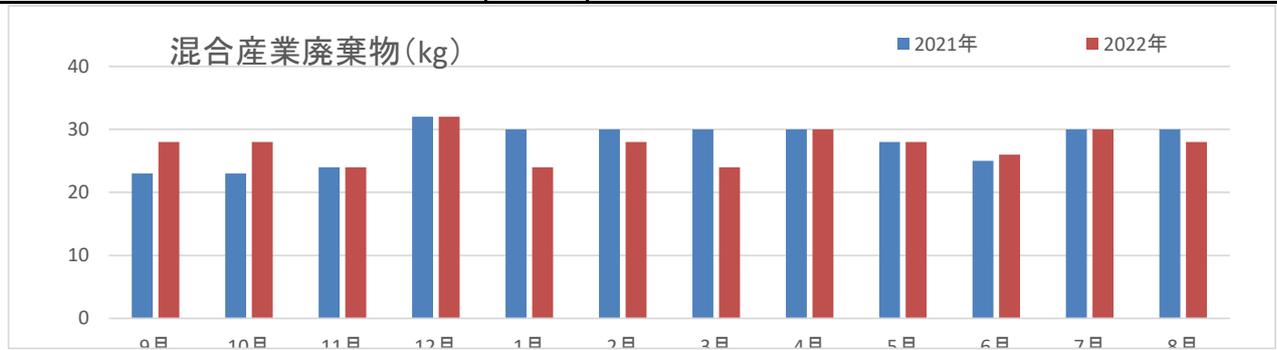
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2021年	839	1,073	2,424	1,871	1,816	1,354	1,364	1,202	1,102	1,245	969	1,124
2022年	1,565	1,834	1,135	813	1,836	0	1,659	1,705	1,462	956	716	799

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	業務量の増加に伴い、年間で、目標未達成となった。次年度は、活動の重要性の啓蒙活動により、節約使用に努める。
・分別の徹底	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・梱包材の再利用	△	
・持込ごみの見直し	△	



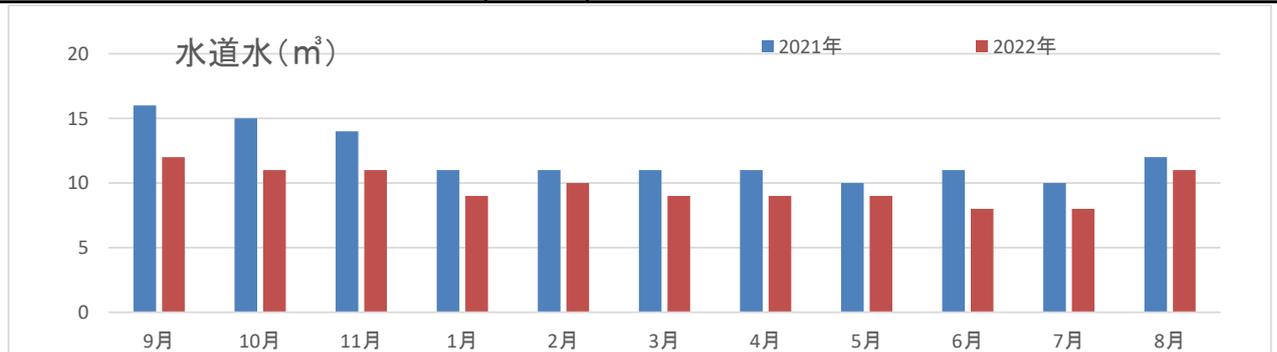
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2021年	23	23	24	32	30	30	30	30	28	25	30	30
2022年	28	28	24	32	24	28	24	30	28	26	30	28

混合廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	丁寧な分別活動の成果で、年間を通じて目標達成できた。次年度も目標達成に向け、しっかりと分別に注力していく。
・分別の徹底	○	
・再資源化先の開拓	○	



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2021年	23	23	24	32	30	30	30	30	28	25	30	30
2022年	28	28	24	32	24	28	24	30	28	26	30	28

水使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	全期間において目標を達成できたことは、啓蒙活動が奏功したと評価します。次年度も引き続き啓蒙活動を実施し、節水目標を達成します。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・トイレに擬音装置取り付け	○	



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2021年	16	15	14	12	11	11	11	11	10	11	10	12
2022年	12	11	11	10	9	10	9	9	9	8	8	11

エコ商品の提案件数	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
新技術の情報入手	○	目標達成できた。次年度も努力する。
ZEHの推進	○	
省エネ設備推進	○	
外断熱提案	○	

ボランティア参加	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・技術の継承	○	目標達成できた。次年度も努力する。
・企業PRによる顧客獲得	○	
・事業拡大のための資金調達、人材確保	○	
・新製品・商品開発	○	
・働き方改革	○	

## 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	順守評価
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物の適正処理、（分別、処分など）、マニフェスト管理、産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出など	○
建設リサイクル法	建設副産物の届出、再資源化等の実績、報告	○
騒音規制法	対象特定建設作業実施の届出、規制値の遵守	○
振動規制法	対象特定建設作業実施の届出、規制値の遵守	○
消防法（危険物）	消火器の設置（危険物の保管はない）	○
フロン排出抑制法	業務用空調機及びフロン類の適正管理（簡易点検、記録保管）	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

### □外部からの環境上の苦情・要請等

対象期間中に、外部からの苦情の発生はありませんでした。

## 緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2022年9月1日	■実施場所 本社
■参加者： 全従業員（欠席者なし）	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価：	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
訓練は手順通りに実施でき、火災対応手順書が引き続き有効であることが確認できた。	

## 代表者による全体の評価と見直し・指示

地元に根差した建設業を目指して運営してきた会社も70期を迎えることができました。環境改善活動は、最近の異常気象に表れているような、生存のための危機に対して、地球温暖化による気候変動が要因であることが周知され、わが社でも、地球温暖化への警鐘を鳴らす意味でも、脱炭素化の取り組み強化をEA21活動による見える活動を最重要課題として取り組んでまいります。わが社のような意識を持つ建設業者が増え、ゼロカーボンな地域づくりを目指します。今期は、大型の民間社屋建築を受注し、環境配慮施工を実施しました。次期も、ゼロカーボンを目指して、持続可能な地域社会の構築に貢献して行きます。

2024年7月28日 代表取締役 沼田 茂

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり ○○
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり 実績を踏まえて見直すこと
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり